

日本音楽療法学会ホームページの「閲覧」の中に、「学術大会抄録検索」のページがあります。そこを開いて検索したい単語をフリーワード欄に入力して「検索する」をクリックすると、該当する学術大会抄録がリストアップされ、見たい抄録をクリックすると該当の抄録原稿が表示されます。

この閲覧ページは、音楽療法のデータベース化を構想したもので、音楽療法に関心を持たれた方々に活用していただき、音楽療法の社会的認知を広めることを目指しています。

また、音楽療法は臨床の科学と言われるように、多くの臨床研究レポートの集積から法則を見出すという方法で、音楽療法を科学として確立することを目指しています。臨床経験レポートを書く際には、先行の臨床研究レポートを探索し、未解明な課題を明らかにしてチャレンジすることになりますから、そのために活用できる音楽療法データベースが不可欠なのです。

これまでは、第1～11回大会の研究発表抄録を精選して閲覧できるようにしていましたが、今回の拡充作業では、第12～20回大会の全抄録を追加しました。さらに、氏名とタイトルから検索する方式を、全文を対象にフリーワードで検索できるように、使い勝手をよくしました。

なお、音楽療法のデータベースに集録すべき情報は多様に存在しますが、学術大会の研究発表抄録の掲載から取りかかった理由にも触れておきます。学会誌等に掲載された研究論文は、それぞれの分野毎に分かれています。その分野毎の先行研究として可能です。しかし、音楽療法学会の研究発表抄録は、大会毎の要旨集として印刷出版されていますが、先行研究として検索するうえで困難を感じるからです。そして、今回の拡充作業では第12～20回大会の抄録のなかで、他の学会誌等に研究論文等として発表（掲載）されている場合、該当会員にその所在（執筆者名、タイトル、掲載誌名、発行者、発行年月日）を問い合わせ、該当抄録原稿の末尾に挿入して、他のデータベースと連携できるようにしました。

音楽療法のデータベース化には多くの課題が残されていますが、拡充作業の中で明らかになった諸課題については、学会ニュースで報告させていただきます。